

やちもの

石井直人



Naoto Ishii Sumiko Ishii

CERAMIC and CRAFT

2012年9月4日(火) - 10月14日(日)

作家在館日 9/4日(火) 8日(土) 9日(日)



美山かやぶき美術館

Miyama Thatched House Gallery
& Folk Museum



道具

石井すみ子

石井直人

1954年 京都生まれ
 1980年 広島大学総合科学部卒業
 1984年 伊賀にて修行
 1992年 京丹波町にて工房「独華陶邑」建設
 1994年 登り窯焼成を始める
 日本各地、韓国などで作品を発表

私の気持ちは、なぜか古代日本人の生活感情に近づこうとします。日本人がまだ自然の神々に強い畏れと敬虔な祈りを捧げていた時代です。土の骨格は焼き固められて、現世の希いだけに取まらない、永遠とゆう名の器物の中に保存されていました。神仏習合の出発点は縄文時代以前からの日本人の森の自然観が土台になっているようです。毎日の生活の中にこそ、日常を越える意識への端緒は必要かもしれません。二年前、至近の道路工事で出てきた大量の青い粘土。約二百万年前の地層ですが、今はこの土を使って器を作ることに強い関心が向きつつあります。土には独自の個性とゆうものがあり、それと向き合う事により、焼物とヒトが古来から築いて来た道につながってゆきたいと願っています。



石井すみ子

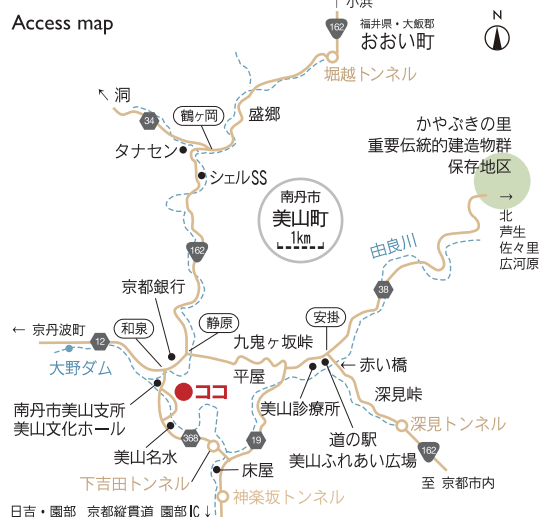
1975年 福岡生まれ
 1997年 立命館大学文学部日本文学専攻卒業
 1998～ インテリアスクール、インテリアデザイン
 2002年 事務所を経て安田勝美建築研究所
 2002年 暮らしから生まれるものづくりをはじめ
 2007年より東京、福岡などのギャラリーや百貨店にて展示会

雑木林に囲まれた茅葺きの民家の下で日々の生活を送っています。私の関心ことは、ものの作り手の感覚や技術がどのようにその形を美しいものにしていくのかということです。その営みにひそむ細やかな秘密のようなものではないでしょうか。毎日の生活で使われる生活道具がそういう要素を含むものであれば、私たちの心に与える影響はどうなってゆくのでしょうか。生活の中で試行錯誤しながら、湧いてくるイメージを素にしてものづくりをしていきたいと思っています。そして、日々使い続けて良かったと思えるものをご紹介したいと思っています。

石井直人 石井すみ子 やきもの 道具

Naoto Ishii Sumiko Ishii
 CERAMIC and CRAFT
 2012年9月4日(火) — 10月14日(日)

公式ホームページ
<http://www.miyama-kayabuki.org/>



美山かやぶき美術館

Miyama Thatched House Gallery
 & Folk Museum

〒601-0751 京都府南丹市美山町
 島朴ノ木21

tel/ fax 0771-75-1777

◎ 開館時間 / 10:00 ~ 16:30

◎ 休館日 / 月曜日
 但し、祝日 9/17(月)・10/8(月)開館
 9/18(火)・10/9(火)休館

◎ 入場料 / 大人 300円 (250円)
 小学生以下無料
 ()は10名以上の団体料金
 郷土資料館との共通券は500円

◎ 駐車場 / あり